

104-326

問題文

薬剤師はこの処方に疑義を抱いた。薬剤師が行う処方提案として、適切なのはどれか。2つ選べ。

1. セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mgを1回1錠、1日2回朝夕食後にする。
2. セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mgを1回1錠、1日1回朝食後にする。
3. レボフロキサシン錠250mgを1回1錠、1日1回朝食後にする。
4. レボフロキサシン錠500mgを1回1錠、1日1回朝食後にする。
5. シプロフロキサシン塩酸塩錠100mgを1回2錠、1日2回朝夕食後にする。

解答

4, 5

解説

化学療法中の、好中球減少、発熱ときたら発熱性好中球減少症です。これは内科的緊急疾患とされます。早急な、幅広いスペクトラムを有する抗菌薬での治療が求められるため、ニューキノロン系が提案としてよいと考えられます。

腎機能に問題ないため、レボフロキサシンを使用するなら、500mg 1回1錠で使います。耐性菌が出現しづらいため、この用法・用量が推奨されています。

以上より、正解は 4,5 です。